

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年11月14日

**【四半期会計期間】** 第44期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

**【会社名】** 平安レイサービス株式会社

**【英訳名】** HEIAN CEREMONY SERVICE CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 相馬 秀行

**【本店の所在の場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 神山 昇

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 神山 昇

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第43期 第2四半期 連結累計期間		第44期 第2四半期 連結累計期間		第43期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		4,493,182		4,603,027		9,445,271
経常利益	(千円)		831,905		855,872		1,841,086
四半期(当期)純利益	(千円)		461,511		501,429		981,255
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		458,330		495,886		995,026
純資産額	(千円)		11,543,409		12,339,547		11,975,020
総資産額	(千円)		27,921,360		28,556,530		28,477,627
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		33.06		38.18		72.43
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		41.3		43.2		42.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		406,948		397,059		1,421,022
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		444,579		202,295		321,343
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		510,244		131,025		614,744
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		4,917,372		5,767,449		5,703,710

回次		第43期 第2四半期 連結会計期間		第44期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		13.99		15.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、東日本大震災の復興需要等を背景として一部持ち直しの兆しが見られたものの、世界経済が減速するにつれ、欧州政府債務危機を巡る不確実性は依然として高く、世界景気の更なる下振れや金融資本市場の変動といった国内の景気を下押しするリスクが散見される状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強・新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下の通りであります。

#### 冠婚事業

当事業では、「チャペルコンサート」を開催し一般婚礼の集客増を図ると共に、季節限定の「ピア&カクテルプラン」や「プレミアムランチプラン」など婚礼外利用による周辺売上強化に注力をいたしました。

その結果、小規模婚礼組数は前年同期比で増加、宴会件数は季節限定企画が寄与し前年同期比で大幅に増加しましたが、一般婚礼組数は前年同期比で減少いたしました。

また、列席者数減少の影響により婚礼一組単価が減少となった結果、売上高は245百万円（前年同期比27.3%減少）となりました。

経費面では継続的なコスト改善等に取り組みましたが、営業利益は21百万円（前年同期比56.2%減少）となりました。

#### 葬祭事業

当事業では、前期に引き続き既存大型葬祭ホールの施行件数増大を図るため、大中規模の葬儀式場を残したまま小規模葬儀にも対応可能な家族葬フロアへの改装を実施し、当第2四半期ではカルチャーBONDS藤沢に家族葬フロアを新設しました。また、ご家族が故人にゆったりと寄り添える専用安置室「貴殯室」をカルチャーBONDS藤沢と湘和会堂町田に新設いたしました。

一方、広告宣伝及び施設見学会などのイベント企画の強化に努めてまいりました。施設見学会では、創作料理・返礼品の試食など商品やサービスを体感いただくなど、よりきめ細やかな生前相談対応に注力をいたしました。また、湘和会堂町田に仏壇ショールームを新設し販売強化に努めてまいりました。

商品面では参加型葬儀の提案商品「追悼壇」を大型葬祭ホール専用に新開発し、ラインナップの充実を図りました。

その結果、当上半期では会葬人数減少の中、葬儀1件単価は前年同期比で増加となりました。また、営業エリアの死亡人口増加率は前年同期比で減少したものの、シェア率は前年同期比で増加となったため葬祭施行件数は前年同期比で増加、売上高は3,862百万円（前年同期比4.5%増加）、営業利益は1,094百万円（前年同期比5.0%増加）となりました。

#### 互助会事業

当事業では、売上高134百万円（前年同期比1.3%増加）、営業利益は70百万円（前年同期比12.1%増加）となりました。

#### 介護事業

当事業では、前期開業のグループホーム「へいあん荻窪」では順調に入居者数が増加し当第2四半期に満床となりました。

その結果、売上高は491百万円（前年同期比8.0%増加）、営業利益17百万円（前年同期比153.5%増加）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,603百万円（前年同期比2.4%増加）、営業利益は811百万円（前年同期比5.9%増加）となり、経常利益は855百万円（前年同期比2.9%増加）となりました。

また、法人税法の改正により税率が軽減した結果、四半期純利益は501百万円（前年同期比8.6%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して78百万円の増加となりました。流動資産では、法人税等の支払及び有形固定資産の取得をしているものの、現金及び預金が60百万円増加、有価証券が取得、償還、振替等により1,202百万円の増加となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が振替により1,213百万円減少しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して285百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が115百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が85百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して364百万円の増加となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは397百万円の増加（前年同期406百万円増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益855百万円、減価償却費235百万円が計上された一方で、法人税等の支払468百万円が生じたことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは202百万円の減少（前年同期444百万円増加）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出233百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは131百万円の減少（前年同期510百万円減少）となりました。これは、配当金の支払131百万円によるものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、5,767百万円となりました。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,400,000
計	52,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,667,000	14,667,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式 単元株式数は100株であり ます
計	14,667,000	14,667,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日	-	14,667,000	-	785,518	-	2,838,393

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
相馬 秀行	神奈川県中郡大磯町	2,327	15.87
小余綾弘産株式会社	神奈川県中郡大磯町	1,900	12.95
平安レイサーサービス株式会社	平塚市桜ヶ丘1番35号	1,532	10.45
相馬 かね	神奈川県中郡大磯町	1,044	7.12
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	LU 33 RUE DE GASPERICH,L-5 826 HOWALD-HESPERANGE,LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	620	4.23
相馬 ちず子	神奈川県平塚市	438	2.98
山田 雅孝	神奈川県中郡大磯町	415	2.82
山田 たか子	神奈川県中郡大磯町	399	2.72
内堀 弘	石川県金沢市	332	2.26
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	300	2.04
計		9,311	63.49

(注) アバディーン アセット マネージメント アジア リミテッド及びその共同保有者であるアバディーン投信投資顧問株式会社から、平成24年8月21日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により平成24年8月15日現在で770,900株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認が出来ませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

また、スパークス・アセット・マネジメント株式会社から、平成23年1月18日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により平成23年1月14日現在で581,100株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認が出来ませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、アバディーン アセット マネージメント アジア リミテッド及びその共同保有者であるアバディーン投信投資顧問株式会社及びスパークス・アセット・マネジメント株式会社の大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
アバディーン アセット マネージメント アジア リミテッド (Aberdeen Asset Management Asia Limited)	21チャーチストリート #01-01 キャピタルスクエア2 シンガポール 049480	561	3.83
アバディーン投信投資顧問株式会社	東京都港区虎ノ門一丁目2番3号虎ノ門清和ビル	209	1.43
計	-	770	5.26

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	東京都品川区大崎一丁目11番2号ゲートシティ大崎	581	3.96
計	-	581	3.96

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,532,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,132,500	131,325	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,600		同上
発行済株式総数	14,667,000		
総株主の議決権		131,325	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
平安レイサーサービス株式会社	神奈川県平塚市 桜ヶ丘1番35号	1,532,900	-	1,532,900	10.45
計		1,532,900	-	1,532,900	10.45

(注) 当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」の欄に含めております。

2 【役員状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,828,690	5,889,109
売掛金	224,037	239,723
有価証券	3,803,994	5,006,411
商品及び製品	48,833	48,837
原材料及び貯蔵品	108,287	108,692
繰延税金資産	94,217	88,115
供託金	45,100	-
その他	100,430	159,425
貸倒引当金	615	1,110
流動資産合計	10,252,975	11,539,205
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	4,165,489	4,062,107
機械装置及び運搬具（純額）	55,043	53,850
工具、器具及び備品（純額）	136,170	123,409
土地	6,824,636	6,922,526
その他	29,648	40,607
有形固定資産合計	11,210,988	11,202,501
無形固定資産	56,009	50,322
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,252,513	3,039,194
長期貸付金	39,500	39,500
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	293,428	298,351
その他	1,772,212	1,787,456
投資その他の資産合計	6,957,653	5,764,501
固定資産合計	18,224,651	17,017,325
資産合計	28,477,627	28,556,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,270	183,218
未払法人税等	451,145	336,081
掛金解約手数料戻し損失引当金	2,838	16,817
その他	710,249	634,437
流動負債合計	1,369,503	1,170,555
固定負債		
繰延税金負債	43,932	39,580
退職給付引当金	58,182	63,543
役員退職慰労引当金	88,701	86,102
資産除去債務	94,922	96,160
前払式特定取引前受金	14,820,262	14,734,725
その他	27,101	26,315
固定負債合計	15,133,103	15,046,428
負債合計	16,502,607	16,216,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	9,049,731	9,419,820
自己株式	670,450	670,468
株主資本合計	12,003,192	12,373,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,172	33,715
その他の包括利益累計額合計	28,172	33,715
純資産合計	11,975,020	12,339,547
負債純資産合計	28,477,627	28,556,530

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,493,182	4,603,027
売上原価	3,142,841	3,199,056
売上総利益	1,350,341	1,403,970
販売費及び一般管理費	584,561	592,807
営業利益	765,779	811,162
営業外収益		
受取利息	21,317	12,823
受取配当金	1,511	1,582
掛金解約手数料	11,432	16,003
補助金収入	2,718	-
その他	42,327	32,531
営業外収益合計	79,306	62,940
営業外費用		
供託委託手数料	2,566	2,831
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	6,008	13,978
有価証券評価損	1,300	-
その他	3,305	1,421
営業外費用合計	13,180	18,230
経常利益	831,905	855,872
特別損失		
固定資産除売却損	14,027	-
特別損失合計	14,027	-
税金等調整前四半期純利益	817,878	855,872
法人税、住民税及び事業税	343,315	354,552
法人税等調整額	13,051	109
法人税等合計	356,367	354,443
少数株主損益調整前四半期純利益	461,511	501,429
四半期純利益	461,511	501,429

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	461,511	501,429
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,181	5,543
その他の包括利益合計	3,181	5,543
四半期包括利益	458,330	495,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458,330	495,886
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	817,878	855,872
減価償却費	232,286	235,849
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額(は減少)	5,984	13,978
貸倒引当金の増減額(は減少)	24	494
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,686	5,360
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,852	2,598
受取利息及び受取配当金	22,828	14,405
有価証券評価損益(は益)	1,300	-
有形固定資産除売却損益(は益)	14,027	-
売上債権の増減額(は増加)	17,365	15,686
たな卸資産の増減額(は増加)	6,939	409
仕入債務の増減額(は減少)	6,120	22,051
前払式特定取引前受金の増減額(は減少)	71,051	85,537
その他	107,935	124,352
小計	845,004	846,515
利息及び配当金の受取額	45,461	19,489
法人税等の支払額	483,516	468,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	406,948	397,059
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	27,890	34,660
定期預金の払戻による収入	117,580	37,980
供託金の預入による支出	-	960
供託金の払戻による収入	-	46,060
有形固定資産の取得による支出	133,624	233,593
有形固定資産の売却による収入	-	29
無形固定資産の取得による支出	3,496	690
投資有価証券の取得による支出	1,705,681	2,200,575
投資有価証券の償還による収入	2,205,000	2,200,000
その他の支出	39,992	36,972
その他の収入	32,684	21,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	444,579	202,295
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	126,724	131,007
自己株式の取得による支出	383,520	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	510,244	131,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	341,284	63,739
現金及び現金同等物の期首残高	4,576,088	5,703,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,917,372	5,767,449

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による影響額は、軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
広告宣伝費	112,312 千円	131,336 千円
役員報酬	48,578 "	47,347 "
給与手当	219,936 "	208,801 "
退職給付引当金繰入額	19,372 "	17,398 "
減価償却費	21,359 "	18,907 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金	5,039,862 千円	5,889,109 千円
預入期間が3か月を超える定期預金	122,490 "	121,660 "
現金及び現金同等物	4,917,372 千円	5,767,449 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	126,666	9	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月7日 取締役会	普通株式	105,072	8	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	131,340	10	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月8日 取締役会	普通株式	118,206	9	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	338,039	3,695,265	2,447	454,690	4,490,442	2,740	4,493,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高			130,507		130,507		130,507
計	338,039	3,695,265	132,955	454,690	4,620,950	2,740	4,623,690
セグメント利益	49,926	1,042,183	63,205	7,043	1,162,357	835	1,163,193

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,162,357
「その他」の区分の利益	835
全社費用(注)	397,413
四半期連結損益計算書の営業利益	765,779

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	245,658	3,862,262	1,907	491,130	4,600,958	2,068	4,603,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高			132,780		132,780		132,780
計	245,658	3,862,262	134,688	491,130	4,733,739	2,068	4,735,808
セグメント利益	21,856	1,094,751	70,849	17,854	1,205,311	232	1,205,544

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,205,311
「その他」の区分の利益	232
全社費用(注)	394,381
四半期連結損益計算書の営業利益	811,162

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末(平成24年3月31日)

(単位：千円)

科目	連結貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
有価証券及び投資有価証券	7,988,703	7,988,703		(注)

(注) 有価証券及び投資有価証券の時価の算定方法

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)

有価証券、投資有価証券取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

(単位：千円)

科目	四半期連結貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
有価証券及び投資有価証券	7,977,801	7,977,801		(注)

(注) 有価証券及び投資有価証券の時価の算定方法

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末(平成24年3月31日)

1. その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	24,553	52,407	27,854
(2) 債券			
国債・地方債等	7,407,944	7,410,715	2,770
社債			
その他	600,000	525,580	74,420
(3) その他			
合計	8,032,498	7,988,703	43,794

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

1. その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	24,553	54,292	29,739
(2) 債券			
国債・地方債等	7,405,649	7,407,205	1,555
社債			
その他	600,000	516,304	83,696
(3) その他			
合計	8,030,202	7,977,801	52,401

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	33円06銭	38円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	461,511	501,429
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	461,511	501,429
普通株式の期中平均株式数(株)	13,961,098	13,134,037

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第44期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年11月8日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 118百万円  
 1株当たりの金額 9円  
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月4日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

平安レイサーサービス株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	野	雅	史	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	澤	田	修	一	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている平安レイサーサービス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、平安レイサーサービス株式会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。